

# “生産量日本一”広島レモンの 消費拡大に向けた新技術の開発スタート！

「広島レモン」の消費拡大をめざし、「2020広島県農林水産業チャレンジプラン」に呼応して、本年度から周年供給，省力生産，高付加価値化に有効な技術の開発に着手しました。

## ◆周年供給

6～9月の端境期に安定出荷するため、

①改良型長期貯蔵技術(図1)

②露地新栽培技術

の開発に取り組んでいます。



鮮度保持フィルム

+



最適な貯蔵条件

図1 改良型長期貯蔵技術のイメージ

## ◆低コスト化

コンパクトで生産効率の高い樹形を開発し早期多収・省力化を実現します(図2)。

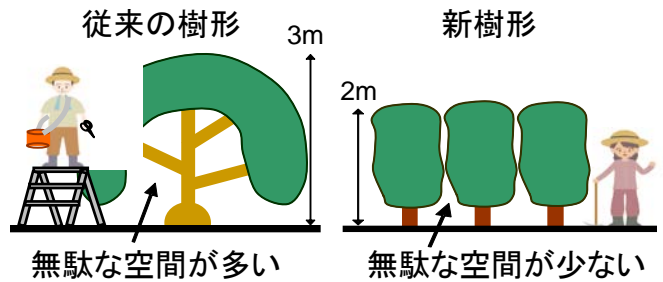


図2 生産効率の高い新樹形のイメージ

## ◆高付加価値化

新品種イエローベルの特徴を活かした加工品の商品化支援とレモンの新たな加工技術を開発します(図3)。



図3 新品種の特徴を活かした商品化支援

☆ 生産者，加工流通業者，行政と連携協力して，商品開発を行います。  
☆ 「海の道プロジェクト」と連携し，地域資源と結合した新たな製品づくりを進めます。